

第1問 問題のねらい

協働的な探究活動の場面の中で，同じ時代を「開発と人々との関係史」，「災害と人々との関係史」という二つの主題からとらえ，資料から情報を取り出す技能，資料が持つ意味を評価したり，歴史的現象を多面的・多角的に考察したりする力を問う。

問	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	1	(1) 原始・古代の日本と東アジア (2) 中世の日本と東アジア (3) 近世の日本と世界 (4) 近代日本の形成と世界 (5) 両世界大戦期の日本と世界 (6) 現代の日本と世界	各時代における開発史や災害史についての理解 年表から目的に応じた情報を読み取る技能	複数の歴史的現象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸現象の比較)	古代から現代に至る開発・災害に関わる年表に示された歴史的現象の共通性を見だし，設定された主題について考察する。	3	3.0	99.0
問2	2	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成 (6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	各時代の具体的な開発や災害に関わる現象と歴史的背景の理解		例示された歴史的現象が生じた時期をとらえる。	3	2.4	80.6
問3	3	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	戦国大名の特徴的な政策についての理解		戦国大名が実施した政策をとらえる。	3	1.9	62.3
問4	4	(1) 原始・古代の日本と東アジア ア 歴史と資料	資料の特性についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	習得した歴史的概念を活用し，現代的課題に応用することができる。	二つの資料から読み取った情報を比較し，資料が伝える内容をとらえた上で，防災の視点から資料が持つ意味や文化財としての価値を考察する。	3	2.9	95.8

* 「配点」とは，当該設問を正解した場合に与える得点である。

* 「設問平均点」とは，当該設問の受検者の得点の平均である。

* 「設問正答率」とは，当該設問を正答した受検者の割合である。なお，正答が複数ある場合は，上段に全て正答した受検者の割合を示し，下段に部分正答（部分点を与えたもの）した受検者の割合を示す。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配 点 (点)	設 問 平 均 点 (点)	設 問 正 答 率 (%)
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力				
問 5	5	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化	産業の近代化についての理解 資料から読み取った情報をまとめる技能	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	立場の異なる複数の資料から読み取った情報を総合し、歴史的事象の影響の多面性を考察する。	3	2.6	87.0
問 6	6	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 ウ 古代国家の推移と社会の変化 (2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成 ウ 中世社会の展開 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 (4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 ウ 近代産業の発展と近代文化 (5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本 (6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	古代から現代にかけての各時代における政治と社会との関係性の特徴についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	各時代に行われた開発の事例や各時代において災害が生じた際の代表的な救済策をとらえ、それぞれの時代の政権の特徴や推移を時系列的に考察する。	3	1.1	36.5

第2問 問題のねらい

古代官道制度について、資料から古代官道の特徴を見だし、律令国家の推移と古代官道の推移との関係性や、律令国家が整備した古代官道が東北地方に与えた影響等を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	7	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	古代律令制度についての理解		資料から読み取れる古代官道の特徴を踏まえて、その性格をとらえる。	3	1.1	37.9
問2(1)	8		古代の行政区画制度と七道の空間的理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能		資料から読み取れる旧国名を手がかりに、古代官道の名称をとらえる。	3	1.4	47.4
問2(2)	9	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	古代国家の推移についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	資料に示された古代官道制度が衰退していく背景を、律令国家の変遷と関連付けて考察する。	3	0.5	15.6
問3	10 11	ウ 古代国家の推移と社会の変化	古代国家による東北地方への支配の推移についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	中央政府が整備した官道や城柵が周辺地域に与えた影響をとらえ、その評価の根拠となる歴史的事象を示す。(複数選択)	3	0.3	9.1
問4	12	(1) 原始・古代の日本と東アジア ウ 古代国家の推移と社会の変化 (2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	古代～近世にかけての関所についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列) 資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	資料に示された関所の機能に関わる情報を読み取り、既習の知識を基に、古代、中世、近世各時期の関所の特徴をとらえ、推移や変化を考察する。	3	1.6	54.1

第3問 問題のねらい

中世における外的影響と社会の変化について、日本と世界との接触についてのレポート課題を基に、中世における世界からの影響を踏まえ、時代を概観し、中世社会の特徴をとらえる力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	13	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	中世後期の社会についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能		資料が示す中世社会の特徴について、海外からの影響の有無についてとらえる。	3	2.7	91.6
問2	14	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 ウ 古代国家の推移と社会の変化 (2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	古代から近世に至る各時代の対外関係についての理解		古代から近世に至る日本と東アジア地域やヨーロッパ諸国との対外関係の特徴についてとらえる。	3	1.4	46.4
問3 (1)	15	(2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成 ウ 中世社会の展開	中世の社会・経済についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から中世社会に関わる情報を読み取り、既習の知識を活用して、この時期の社会・経済の特徴と関連付けて考察する。	3	2.4	80.9
問3 (2)	16	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	中世における農業の発展についての理解		中世に展開する農業の集約化に関連する歴史的事象をとらえる。	3	1.7	57.0
問4	17	ウ 中世社会の展開	中世後期の時代の特徴についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	室町時代の評価について、多面的・多角的な評価の根拠となる歴史的事象を示す。	3	1.1	36.4

第4問 問題のねらい

近世社会において作成された文書や絵図など様々な資料を基に、俳句から当時の歴史的背景を考察する力や、資料から読み取れる情報から、資料が作成された目的を考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配 点 (点)	設問 平均 点 (点)	設問 正答 率 (%)
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力				
問1	18	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制 の変容	資料から目的 に応じた情報 を読み取る 技能		資料から情報を読み 取り、幕府が示す規則 と村の一事例との差異 をとらえる。	3	1.0	34.7
問2 (1)	19	(3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成 ウ 産業経済の発展と幕藩体制 の変容	江戸時代の 文学、芸術文化 についての理 解		元禄文化、化政文化 それぞれの特徴をとら える。	3	1.2	39.1
問2 (2)	20	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制 の変容	ロシアとの 関係や養蚕業 の発展につい ての理解 資料から目 的に応じた情 報を読み取る 技能	資料から読み取った 情報と歴史的事象との 関わりを類推すること ができる。	小林一茶の俳句が示 す対外関係や社会状況 と歴史的事象との関係 を考察する。	3	1.3	44.1
問3	21		近世の村に ついての理解 資料から目 的に応じた情 報を読み取る 技能	資料から読み取った 情報と歴史的事象との 関わりを類推すること ができる。	2枚の村絵図からそ れぞれの特徴を読み取 り、差異を手がかりに、 作成された意図を考察 する。	3	2.3	77.6
問4	22		享保の改革 についての理 解 資料から目 的に応じた情 報を読み取る 技能	資料から読み取った 情報と歴史的事象との 関わりを類推すること ができる。	資料から文書管理の 有効性についての情報 を読み取り、享保の改 革における諸政策との 関係性を考察する。	3	1.8	60.2

第5問A 問題のねらい

生徒が1880年前後の経済的状況をまとめる活動の中で、財政政策の大きな流れと政策の特徴をとらえ、国民生活に与えた影響を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	23	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化	近代の財政政策についての理解	/	松方財政の特徴についてとらえる。	3	1.5	49.9
問2	24		デフレ政策の影響についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。 (事象相互のつながり)	既習の知識や概念を活用し、松方財政によるデフレの長期化がもたらした影響を表したグラフを示す。	3	1.5	49.6
問3	25		資料から目的に応じた情報を読み取る技能	/	資料から読み取った情報を基に、企業勃興期の産業の特徴をとらえる。	3	2.2	73.0

第5問B 問題のねらい

日清戦争後の世界と日本について、1枚の風刺画を手がかりに日本と世界とのつながりをとらえたり、日本の動向が世界に与えた影響を考察したりする力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問4	26	(4) 近代日本の形成と世界 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開	明治期の風刺画についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料が示す内容と同じ意識で描かれた風刺画を示す。	3	1.4	47.9
問5	27 28		日清講和条約についての理解 資料から読み取った情報をまとめる技能	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	複数の資料から読み取った情報をまとめ、日清講和条約が世界に与えた影響について考察する。(複数選択)	4 (各2)	2.7	全て正答 38.4 ----- 部分正答 57.2

第6問 問題のねらい

時代の転換をテーマとした学習過程の中で、歴史的事象の特徴をとらえたり、歴史的事象の評価は多様に解釈できることを踏まえ、転換点として示した事象の特徴や因果関係を考察したりする力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	配点(点)	設問平均点(点)	設問正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力				
問1	29	(4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 ウ 近代産業の発展と近代文化	日本の近代文学の展開についての理解		夏目漱石が果たした事績の特徴をとらえる。	3	0.9	29.2
問2	30	(4) 近代日本の形成と世界 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開	日露戦争後の社会についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	日露戦争後に見られた社会的風潮をとらえ、そうした風潮が生じた背景や影響を考察する。	3	1.2	39.7
問3	31	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成	大正～昭和初期の大衆文化についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	大正～昭和初期にかけての大衆文化の特徴をとらえ、大正～昭和初期の政治動向との関係を考察する。	3	0.7	23.1
問4	32	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成	日本国憲法の基本的理念と大正～昭和初期の政治的動向についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	吉野作造が唱えた理念と日本国憲法の基本的理念との差異をとらえ、大正デモクラシーの特徴を考察する。	3	1.7	55.1
問5	33	(6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	高度経済成長期前後の社会についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	高度経済成長を可能とした社会的要因とその結果もたらされた社会的影響との関係性を考察する。	3	1.5	48.8
問6	34		高度経済成長期の社会についての理解		高度経済成長によってもたらされた社会状況の変化をとらえる。	3	1.4	45.1
問7	35 36	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本 (6) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会	大戦期の国際社会の動向と第二次世界大戦後の日本の社会の特徴についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	日本によるポツダム宣言の受諾と女性参政権の獲得とを歴史の転換点ととらえ、歴史的事象が持つ意味や意義を考察し、転換点ととらえる根拠を示す。(解答が前問の解答と連動し正答の組み合わせが複数ある問題)	3	2.3	75.1